

2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に 当科において肺癌の治療を受けられた方及びご家族の方へ

— 「すりガラス陰影を呈する浸潤性粘液性腺癌の臨床所見と転帰の検討」
へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学呼吸器外科学	臨床助教	杉山浩樹
研究分担者	川崎医科大学呼吸器外科学	准教授	清水克彦
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	最相晋輔
	川崎医科大学呼吸器外科学	講師	野島雄史
	川崎医科大学呼吸器外科学	臨床助教	松谷隆志

1. 研究の概要

浸潤性粘液性腺癌は様々な画像所見を呈し、その中には限局性のすりガラス陰影を呈することもあり病理学的非浸潤癌と診断に難渋することがあります。そのため胸部 CT にて浸潤性粘液性腺癌を特定できるかを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において術前の胸部 CT で限局性のすりガラス陰影を認め手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において肺癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにカルテのデータを選び、術式に関する分析を行い、浸潤性粘液性腺癌に特徴的な所見を検討します。

4) 使用する情報の種類

診療録からの情報：年齢、性別、病歴、治療前の画像所見、治療後の病理所見等の情報を利用します

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学呼吸器外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 11 月 30 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 呼吸器外科学

氏名：杉山浩樹

電話：086-462-1111 内線 25519（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）

E-mail：sugiyama.h@kawasaki-m.ac.jp

2. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。